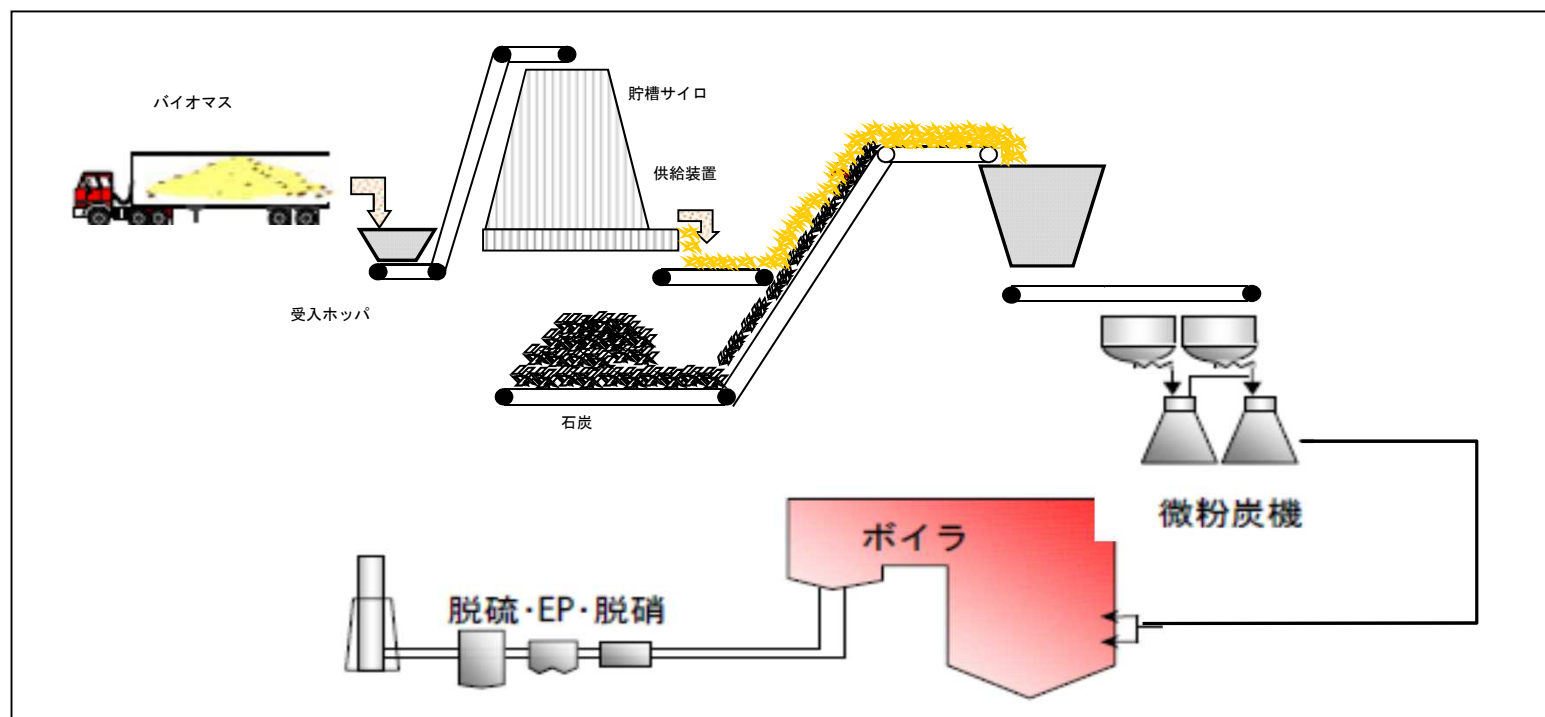


島根県内のエネルギー供給の現状について

(6) 三隅発電所における木質バイオマス石炭混焼事業

- ・平成20年度に県・中国電力(株)など関係者で研究会を立ち上げ、実現可能性を検討。
- ・平成21年度に一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の「林地残材バイオマス石炭混焼発電実証事業」に中国電力(株)が採択され、平成23年2月から実証事業を開始。
- ・平成24年度末で実証事業を終え、平成25年度から本格運用。



【実証事業の概要】

1. 対象設備	三隅発電所(浜田市三隅町、出力100万kW×1基、燃料:石炭)
2. 実証事業の内容	木質チップの受入・貯蔵・払出設備を新設し、島根県素材流通協同組合から木質チップの供給を受け、石炭と混焼。
3. 木質バイオマスの種類等について	(種類):山に残された林地残材 (使用量):約3万t/年、150t/日
4. 木質バイオマスの調達先	島根県素材流通協同組合
5. CO2排出削減量	約2.3万t-CO2/年(見込量)
6. 木質バイオマス発電電力量	約3200万kWh/年(見込量)
7. 事業スケジュール	・平成21年10月～ :実証設備計画 ・平成22年7月～平成23年1月:設置工事 ・平成23年2月～平成25年3月:実証試験 ・平成25年4月～ :本格運用

※平成25年度以降も林地残材年間3万t使用予定。